

○島田市川根温泉条例

平成20年 3 月28日

条例第17号

改正 平成23年 3 月30日 条例第13号

平成25年12月27日 条例第43号

平成31年 3 月28日 条例第 9 号

令和 2 年12月28日 条例第50号

令和 5 年 3 月30日 条例第15号

(設置)

第1条 島田市は、市民の健康を増進し、ふれあいと交流を通じた地域振興を図るため、川根温泉施設（以下「温泉施設」という。）を設置する。

(名称及び位置)

第2条 温泉施設の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
島田市川根温泉	島田市川根町笹間渡220番地

(施設)

第3条 島田市川根温泉（以下「川根温泉」という。）に次の施設を置く。

- (1) ふれあい棟
- (2) コテージ
- (3) 農業体験室
- (4) 食工房サクラ
- (5) 展示販売棟
- (6) パターゴルフ場
- (7) コイン給湯所

(令2条例50・一部改正)

(指定管理者による管理)

第4条 川根温泉の管理は、法人その他の団体であつて、市長が指定するもの（以下「指定管理者」という。）に行わせるものとする。

2 市長は、指定管理者を指定しようとするときは、規則で定めるところにより公募するものとする。ただし、第8条に規定する場合は、この限りでない。

(平23条例13・一部改正)

(指定管理者が行う管理の業務)

第5条 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。

- (1) 川根温泉の利用の承認に関する業務
  - (2) 川根温泉における地元産品の宣伝及び販売並びに飲食に関する業務
  - (3) 川根温泉の施設及び設備の維持管理に関する業務
  - (4) 前3号に掲げるもののほか、川根温泉の運営に関して市長が必要と認める業務
- (指定管理者の指定の申請)

第6条 第4条第1項の規定による指定を受けようとするものは、申請書に事業計画書その他規則で定める書類を添えて、市長が定める期日までに、当該指定について市長に申請しなければならない。

(平23条例13・一部改正)

(指定管理者の指定)

第7条 市長は、前条の規定による申請があったときは、次に掲げる基準を総合的に審査し、川根温泉の管理を行わせることが最も適当であると認めるものを候補者として選定し、議会の議決を経て、指定管理者を指定するものとする。

- (1) 事業計画書の内容が、市民の平等利用を確保することができるものであること。
- (2) 事業計画書の内容が、川根温泉の効用を最大限に発揮させるとともに、その管理に係る経費の縮減が図られるものであること。
- (3) 事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力及び人的能力を有するものであること。

(平23条例13・一部改正)

(指定管理者の候補者の選定の特例)

第8条 市長は、第6条の規定による申請がなかった場合、前条各号に掲げる基準を総合的に審査し指定管理者の候補者として適当と認めるものがなかった場合、又は川根温泉の適正な運営を確保するため特に必要と認める場合は、市が資本金、基本金その他これらに準ずるものを出資している法人、公共的団体その他規則で定めるもののうちから、指定管理者の候補者を選定することができる。

2 前2条の規定は、前項に規定する指定管理者の候補者の選定について準用する。

(平23条例13・一部改正)

(指定管理者の指定等の告示)

第9条 市長は、第7条（前条第2項において準用する場合を含む。）の規定により指定管理者の指定を行ったとき、又は地方自治法（昭和22年法律第67号。以下「法」という。）第244条の2第11項の規定により指定管理者の指定を取り消したとき、若しくは業務の全部若しくは一部の停止を命じたときは、その旨を告示するものとする。

(開館時間)

第10条 川根温泉の開館時間（コテージにあっては、コテージの利用に係る申込みの受付時間）は、午前9時から午後9時まで（農業体験室にあっては午前9時から午後5時まで、食工房サクラにあっては午前7時30分から午後5時まで）とする。ただし、指定管理者は、特に必要があると認めるときは、あらかじめ市長の承認を得てこれを変更することができる。

2 前項の規定にかかわらず、市長が特に必要があると認めるときは、開館時間を変更することができる。

(令2条例50・一部改正)

(コテージの利用時間)

第11条 コテージを利用することができる時間（以下この条において「利用時間」という。）は、午後4時から翌日の午前11時までとする。ただし、同一のコテージを連続して2泊以上利用する場合は、最終日の午前11時まで利用することができる。

2 前項の規定にかかわらず、指定管理者は、特に必要があると認めるときは、あらかじめ市長の承認を得て利用時間を変更することができる。

3 前2項の規定にかかわらず、市長が特に必要があると認めるときは、利用時間を変更することができる。

(休館日等)

第12条 川根温泉（コテージ、食工房サクラ及びコイン給湯所を除く。）の休館日は、火曜日（その日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下「休日」という。）に当たるときは、その直後の休日以外の日）とする。ただし、指定管理者は、特に必要があると認めるときは、あらかじめ市長の承認を得て、臨時に開館し、又は休館することができる。

2 コテージ、食工房サクラ及びコイン給湯所は、休館日を設けないこととする。た

だし、指定管理者は、特に必要があると認めるときは、あらかじめ市長の承認を得て、臨時に休館することができる。

3 前2項の規定にかかわらず、市長が特に必要があると認めるときは、臨時に開館し、又は休館することができる。

(令2条例50・一部改正)

(利用の承認)

第13条 川根温泉（食工房サクラ及び展示販売棟を除く。以下この条、第15条、第16条、第18条及び第19条において同じ。）を利用しようとする者は、指定管理者の承認を受けなければならない。承認を受けた事項を変更しようとするときも、同様とする。

2 指定管理者は、川根温泉の管理上又は公益上必要があると認めるときは、前項の承認（以下「利用の承認」という。）に際し、条件を付し、又は必要な指示をすることができる。

(平23条例13・令2条例50・一部改正)

(利用の制限)

第14条 指定管理者は、公衆浴場法（昭和23年法律第139号）その他の法令に定めるもののほか、次の各号のいずれかに該当するときは、川根温泉の利用を拒否し、又は退場を命ずることができる。

(1) 公の秩序又は善良な風俗を乱すおそれがあると認められるとき。

(2) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に掲げる暴力団その他集团的に又は常習的に暴力的不法行為を行うおそれがある組織の利益になると認められるとき。

(3) 川根温泉の管理及び運営上支障があると認めるとき。

(4) 前3号に掲げる場合のほか、指定管理者がその利用を不相当と認めるとき。

(利用の承認の取消し等)

第15条 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当するときは、利用の承認を取り消し、又は利用を制限し、若しくは停止させることができる。

(1) 利用の承認を受けた者（以下「利用者」という。）がこの条例又はこの条例に基づく規則に違反したとき。

(2) 利用者が第13条第2項の規定により付された利用の承認の条件に違反したとき。

(3) 利用者が偽りその他不正の手段により利用の承認を受けたとき。

(4) 利用の承認後において、前条各号のいずれかに該当していることが明らかとなったとき。

(5) 前各号に掲げる場合のほか、指定管理者が川根温泉の管理上利用させることが適当でなくなつたと認めるとき。

2 前項に定めるもののほか、指定管理者は、公益のためやむを得ないと認めるときは、利用の承認を取り消し、利用の承認をした事項を変更し、又は利用を制限し、若しくは停止させることができる。

3 前2項の規定による取消し等により、利用者が損害を受けることがあつても、指定管理者は、その責めを負わない。

(平23条例13・一部改正)

(利用料)

第16条 川根温泉を利用しようとする者は、次項の規定により指定管理者が定める利用料（法第244条の2第8項の利用料金をいう。以下同じ。）を利用の承認を受ける際に、指定管理者に納付しなければならない。ただし、指定管理者が特にやむを得ないと認めるときは、この限りでない。

2 利用料の額は、別表に定める額の範囲内において、指定管理者があらかじめ市長の承認を得て定めるものとする。利用料の額を変更しようとするときも、同様とする。

3 指定管理者は、前項の承認を得たときは、その旨及び利用料の額を公表しなければならない。

4 利用料は、指定管理者の収入とする。

(利用料の減額又は免除)

第17条 指定管理者は、市長が特に必要があると認めるときは、利用料を減額し、又は免除することができる。

(利用料の不還付)

第18条 既納の利用料は、還付しない。ただし、次の各号のいずれかに該当するときは、利用料の全部又は一部を還付することができる。

(1) 利用者が自己の責めによらない理由により川根温泉を利用することができなくなったとき。

(2) 利用者が利用の日前14日までに、利用の承認を受けた事項の変更を申し込み、又は利用の承認の取消しを申し出た場合において、市長が相当の理由があると認めるとき。

(3) 利用者が第13条第1項後段の規定により利用の承認を受けた事項を変更する承認を受けたとき。

(平23条例13・一部改正)

(権利の譲渡等の禁止)

第19条 利用者は、川根温泉を承認された目的以外に利用し、又は利用の権利を他人に譲渡し、若しくは転貸してはならない。

(平23条例13・一部改正)

(利用者の原状回復の義務)

第20条 利用者は、川根温泉の利用が終わったとき、又は第15条第1項若しくは第2項の規定により利用の承認を取り消され、若しくは利用を停止させられたときは、直ちに原状に回復しなければならない。

2 利用者が前項に規定する義務を履行しないときは、市長がこれを代行し、その費用を利用者から徴収するものとする。

(平23条例13・追加)

(行為の制限)

第21条 次に掲げる行為をするために川根温泉の施設（第13条第1項前段の承認に係る部分を除く。）又はその敷地を利用しようとする者は、あらかじめ指定管理者の許可を受けなければならない。

(1) 物品の販売その他これに類する行為

(2) 寄附の勧誘

(3) 広告物の掲示又は配布

(4) 前3号に掲げるもののほか、規則で定める行為

2 第13条第1項後段及び第2項、第14条、第15条並びに前2条の規定は、前項の許可を受けた場合について準用する。この場合において、第15条第1項第2号中「第13条第2項」とあるのは「第21条第2項において準用する第13条第2項」と読み替えるものとする。

(平23条例13・追加)

(特別設備の制限)

第22条 川根温泉においては、特別な設備を設け、又は造作を加えてはならない。ただし、あらかじめ指定管理者の許可を受けた者がこれらの行為をする場合は、この限りでない。

2 前項ただし書の規定により生ずる費用は、当該許可を受けた者の負担とする。

3 前条の規定は、第1項ただし書の許可を受けた場合について準用する。

(平23条例13・旧第20条繰下・一部改正)

(必要措置の命令等)

第23条 指定管理者は、川根温泉の管理上必要があると認めるときは、利用者に対し必要な措置を執ることを命じ、又は入場者若しくは入場しようとする者に対し、入場を制限し、若しくは退場を命ずることができる。

(平23条例13・旧第21条繰下・一部改正)

(秘密を守る義務)

第24条 指定管理者の役員及び職員は、業務上知り得た秘密を他に漏らしてはならない。その職を退いた後も、同様とする。

(指定管理者の原状回復の義務)

第25条 指定管理者は、その指定の期間が満了したとき、又は法第244条の2第11項の規定により指定を取り消され、若しくは期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命ぜられたときは、その管理しなくなった施設又は設備を速やかに原状に回復しなければならない。ただし、市長の承認を得たときは、この限りでない。

2 指定管理者が前項本文に規定する義務を履行しないときは、市長がこれを代行し、その費用を指定管理者から徴収するものとする。

(平23条例13・追加)

(損害賠償の義務)

第26条 故意又は過失により、川根温泉の建物、設備、備品その他の物件を損傷し、又は滅失した者は、直ちに市長に届け出るとともに、市長が相当と認める損害の額を市に賠償しなければならない。ただし、市長が特別の事情があると認めるときは、この限りでない。

(平23条例13・追加)

(委任)

第27条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

(平23条例13・旧第25条繰下)

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成20年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行の日（以下「施行日」という。）の前日までに川根町ふれあい拠点施設の設置及び管理に関する条例（平成17年川根町条例第19号）の規定によりされた処分、手続その他の行為は、この条例の相当規定によりされたものとみなす。

3 施行日の前日において川根町公の施設の指定管理者の指定の手続等に関する条例（平成17年川根町条例第17号）の規定により川根町ふれあい拠点施設の指定管理者の指定を受けているものは、この条例の相当規定により川根温泉の指定管理者の指定を受けているものとみなす。

4 川根地区（編入前の榛原郡川根町の区域をいう。次項において同じ。）に住所を有する者が入浴施設を利用する場合の利用料は、第16条第2項の規定にかかわらず、平成26年3月31日までの間に限り、次の表のとおりとする。

利用区分	単位	利用料		備考	
		大人 (中学生以上)	小人 (小学生)		
当日券	浴場のみ	1人、1	400円	200円	1 大人の利用料には、入湯税を含む。 2 乳幼児の利用料は、徴収しない。
	浴場及びバーデゾーン	回	800円	400円	
	バーデゾーンのみ		500円	300円	
回数券	浴場のみ	回数券	4,000円	2,000円	3 1枚の回数券は、1人1回の利用に使用できる。
	浴場及びバーデゾーン	11枚	8,000円	4,000円	
	バーデゾーンのみ		5,000円	3,000円	

(平23条例13・一部改正)

5 川根地区に住所を有する者がコイン給湯所を利用する場合の利用料は、第16条第2項の規定にかかわらず、平成26年3月31日までの間に限り、徴収しない。ただし、



この場合の1日の給湯量は、1人につき、120リットルまでとする。

(平23条例13・一部改正)

附 則 (平成23年3月30日条例第13号)

この条例は、平成23年4月1日から施行する。

附 則 (平成25年12月27日条例第43号) 抄

(施行期日)

- 1 この条例は、平成26年4月1日(以下「施行日」という。)から施行する。ただし、附則第5項の規定は、公布の日から施行する。

(適用区分)

- 4 前2項に定めるもののほか、この条例による改正後のそれぞれの条例(以下「新条例」という。)の規定は、施行日以後に徴収すべき事由が生じた使用料、手数料その他の収入から適用し、施行日前に徴収すべき事由が生じた使用料、手数料その他の収入については、なお従前の例による。

(準備行為)

- 5 新条例の施行に伴って必要となる地方自治法(昭和22年法律第67号)第244条の2第9項後段に規定する利用料金の承認は、この条例の施行前においても、新条例の規定により定める額の範囲内で行うことができる。

附 則 (平成31年3月28日条例第9号) 抄

(施行期日)

- 1 この条例は、平成31年10月1日(以下「施行日」という。)から施行する。ただし、附則第8項の規定は、公布の日から施行する。

(適用区分)

- 7 附則第2項から前項までに定めるもののほか、この条例による改正後のそれぞれの条例(以下「新条例」という。)の規定は、施行日以後に徴収すべき事由が生じた使用料、手数料その他の収入から適用し、施行日前に徴収すべき事由が生じた使用料、手数料その他の収入については、なお従前の例による。

(準備行為)

- 8 新条例の施行に伴って必要となる地方自治法(昭和22年法律第67号)第244条の2第9項後段に規定する利用料金の承認は、この条例の施行前においても、新条例の規定により定める額の範囲内で行うことができる。

附 則（令和 2 年12月28日条例第50号）

この条例は、令和 3 年 1 月 1 日から施行する。

附 則（令和 5 年 3 月30日条例第15号）

（施行期日）

- 1 この条例は、令和 6 年 7 月 1 日から施行する。ただし、附則第 3 項の規定は、公布の日から施行する。

（適用区分）

- 2 改正後の島田市川根温泉条例（以下「新条例」という。）別表の規定は、この条例の施行の日（以下「施行日」という。）以後の利用に係る利用料（新条例第16条第 1 項に規定する利用料をいう。以下同じ。）から適用し、施行日前の利用（施行日の前日から施行日にかけて新条例第 3 条第 2 号に規定するコテージを利用する場合を含む。）に係る利用料については、なお従前の例による。

（準備行為）

- 3 この条例の施行に伴って必要となる新条例第16条第 2 項に規定する利用料の額の承認は、この条例の施行前においても、新条例別表に定める額の範囲内で行うことができる。

別表（第16条関係）

（平25条例43・平31条例 9・令 5 条例15・一部改正）

### 1 入浴施設

利用区分	単位	利用料					
		大人		小人 (小学生)		高齢者等	
		市内	市外	市内	市外	市内	市外
当日券	1人、1回	600円	890円	400円	630円	600円	890円
回数券	11回分	5,950円	8,830円	4,050円	6,290円	5,350円	8,830円

備考

- 1 大人とは、中学生以上の者で、高齢者等を除いた者をいう。
- 2 高齢者等とは、満70歳以上の者及び老人クラブの会員である者をいう。
- 3 大人及び高齢者等の利用料には、入湯税を含む。
- 4 乳幼児の利用料は、徴収しない。

- 5 入浴施設の利用料は、利用者が市内に住所を有する場合にあっては市内の欄に掲げる額とし、市外に住所を有する場合にあっては市外の欄に掲げる額とする。

## 2 休憩室

利用区分	単位	利用料
和室A (15畳)	2時間まで、1室	4,190円
和室B (8畳)		2,090円

### 備考

- 1 1回の利用は、2時間までとする。
- 2 2時間を超えて利用する場合の利用料は、超過時間1時間（その時間が、30分未満の場合は切り捨てることとし、30分以上の場合は1時間とする。）につき、和室Aは1,570円を、和室Bは840円をそれぞれ加算した額とする。

## 3 コテージ

利用区分	単位	利用料
A棟 (4人用)	1棟、1泊	31,400円
B棟 (5人用)		39,250円
C棟 (6人用)		47,100円
D棟 (8人用)		62,800円

備考 この表の利用料は、入湯税を含まない。

## 4 農業体験室

利用時間	単位	利用料
4時間未満	1室	840円
4時間から8時間まで		1,680円

備考 8時間を超えて利用する場合の利用料は、超過時間1時間（その時間が、30分未満の場合は切り捨てることとし、30分以上の場合は1時間とする。）につき、210円を加算した額とする。

## 5 パターゴルフ場

単位	利用料	
	大人 (中学生以上)	小人 (小学生)

1人、1ラウンド	520円	310円
----------	------	------

備考 夜間照明を利用する場合の利用料は、この表に掲げる額に、大人は110円を、  
 小人は60円をそれぞれ加算した額とする。

#### 6 コイン給湯所

単位	利用料
20リットル	60円

備考 1日の給湯量は、1人につき、120リットルまでとする。